

資質	分類	1・2年生	3・4年生	5・6年生	学習内容					
A 知識・及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	(1) 情報と情報技術の仕組みや特性の知識	①身近な生活の中でコンピュータが活用されていることに、指摘により気付く ②コンピュータはプログラムで動いていることを知る	①身近な生活の中でコンピュータが活用されている場面を見出し、その仕組みに関心をもつ ②プログラムは人間が作っていることを知る	①身近な生活の中でコンピュータが活用されている場面を見出し、その仕組みを考える ②プログラムとは手順を自動化したものであることを知る	基本的な操作等 プログラミング				
		(2) 情報と情報技術の操作に関する基本的な技能	①コンピュータ起動や終了などの基本的な操作ができる ②デジタルカメラなどで写真を記録できる ③マウスの操作やキーボードなどで文字を正しく入力することができる	①コンピュータ起動や終了、ファイル保存などの基本的な操作ができる ②プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる ③ホームポジションを理解し、キーボードで正しく文字を入力できる ④インターネットを使って情報を調べることができる	①ファイルを、フォルダを利用して整理することができる ②プレゼンテーションソフトを活用することができる ③ホームポジションを意識して、手元を見ずに正しくキーボード入力を行うことができる。 ④インターネットや印刷物等により適切な情報を集めることができる					
			(3) 記号の組合せ方の理解	①大きな事象は小さな事象に分けられることに気付く ②コンピュータには明確な手順を命令する必要があることを知る ③身近なことに順序があることを知る（順次処理）	①大きな事象は小さな事象の組合せであることを知る ②条件を満たすまで動作を続ける場面があることを知る（繰り返し処理） ③順次処理や繰り返し処理を組合せ、コンピュータに意図した処理を行うための指示を出す体験をする		①大きな事象を解決可能な小さな事象に分解できることを理解する ②条件により動作が変化する場面があることを知る（条件分岐処理） ③順次処理や繰り返し処理、条件分岐処理を組合せ、コンピュータに意図した処理を行うための指示を出す体験をする			
				2 課題発見・解決における情報活用方法の理解	(1) 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解		①様々なメディアに触れ、情報を収集する方法を知る ②絵や図を用いた情報の整理の方法を知る ③分かりやすいプレゼンテーションの方法を知る	①様々なメディアの情報から自らの課題に合った情報を選択する ②インタビューやアンケートなど、自ら情報を得る方法を理解する ③相手を意識したプレゼンテーションの方法を理解する ④メディアによる情報の伝え方の違いに気付く	①集めた情報を理解し、共通点や相違点を話し合い、整理する ②様々なデータを、コンピュータを用いて表やグラフに整理する方法を理解する ③自他の情報を組み合わせ、目的を意識したプレゼンテーションの方法を理解する ④ICTを活用して情報を共有したり、話し合いの際に根拠を示したりできることを理解する	問題解決・探究における情報活用
		3 情報モラル・セキュリティなどについての理解	(1) 情報技術の社会に果たす役割・影響の理解 (2) 情報に関する法・制度やマナーの意義、個人が果たす役割や責任の理解		①情報技術発達の歴史を知り、情報技術の良さに気付く ②情報技術の利用が健康を害することを知る ①友達の作品や制作物を大切に ②他者に伝えてはいけない情報（個人情報）があることを理解する ③インターネット上には誤った情報があることを知る		①ネットワークやコンピュータが日常生活に欠かせない物になったことを理解する ②情報技術のもたらす心身への影響と節度ある使い方を理解する ①個人の権利（プライバシー等）を尊重する ②真似、コピーとオリジナルとの違いを知る ③インターネット上の適切な行動を知り、判断する ④コンピュータウイルスの危険性を理解する	①情報技術の特徴に合わせた利用の方法や基本的な仕組みを理解する ②情報技術のもたらす心身への影響について理解し、ルールや節度を守って利用する ①自他の権利とプライバシーの侵害について知り、情報を正しく扱う ②セキュリティ対策について基本的な方法を知る ③誤った情報や危険な情報があること、ルール、マナーに反する行為を知り、適切に判断し行動できる ④個人情報保護や著作権について理解し、守る	情報モラル・セキュリティ	
			1 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉える力		(1) 事象を情報とその結び付きの視点で捉える力		①体験や活動から疑問をもち、解決の手順を見通したり分析したりする ②身近な生活でコンピュータが活用されることで、生活が豊かになっていることに気付く ③身近な生活の中のコンピュータの活用は、プログラミングによって制御されていることに気付く	①体験や活動から疑問をもち、解決の手順を見通したり分析したりして、どのような手順の組合せが必要かを考える ②プログラミング教材の仕組みを理解し、意図した処理を行うように指示することができる ③身近な生活をよくするための改善点を見つけ、プログラミングの働きを生かす仕組みを考えることができる		
	2 複数の情報を結び付けて新たな意味を見出したり、自分の考えを深めたりする力			(1) 複数の情報や考えを結び付けて新たな意味や価値を創造したり、考えを深化したりする力	①他者の意見や考えを共有・情報交換し、新たな意味や価値を見出すことができる ②自分の意見や考えと他者の意見や考えを比較し、情報を精査することができる ③一連の活動を実現するために、大きな事象を小さな事象に分解することができる	①他者の意見や考えを共有・情報交換し、機能的に推論をして伝え合うことができる ②複数の情報や考え方を精査し、導き出される新たな意味や価値についてその根拠をまとめることができる ③意図する一連の活動を実現するために、大きな事象を解決可能な小さな事象に分解し、解決のために組み替えることができる	①他者の意見や考えを共有・情報交換し、帰納・類推・演繹などの推論を行って伝え合うことができる ②導き出された新たな意味や価値について再度精査し、創造革新をめざす力や言語力や協働能力などの相互作用の力を高めることができる ③意図する一連の活動を実現するために、大きな事象を解決可能な小さな事象に分解し、よりよい解決のために組み替えることができる			
		3 課題発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力（情報発信・発信者の意図の理解）		(1) 課題発見・解決の各過程における情報活用（情報の収集、整理、分析、表現）	①身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、絵や図などを用いて、情報を整理する ②必要な情報を分析し、自分の言葉でまとめる ③相手を意識し、分かりやすく情報を発信することができる	①必要に応じた情報収集や整理を行い、対象についての分析を行うことができる ②問題解決に必要な情報を選択し、分析、再考をして解決策を見つけることができる ③相手や状況に応じて情報を分かりやすく発信するために、適切なツールを用いて表現することができる	①対象についての分析から考察し、導き出された意見や考えをまとめることができる ②情報交換や共有を行う際に、発信者の意図を理解し、適切に回答することができる ③情報発信の際に、相手や状況に応じたツールを適切に活用して表現することができる			
			1 課題解決・探究における情報活用への態度	(1) 多面的に情報を吟味し、見極めようとする態度	①情報に対し、自分の思いや考えをもつことができる ②情報に対する様々な感じ方の違いや捉え方の違いについて理解する ③情報に対する感想の相違点、類似点を認め合う	①情報に対し、自分の思いや考えを広げ、深めることができる ②情報を収集し比較する、選び取る、結び付けることができる ③思考ツールを使って、多様な情報を発散、整理することができる	①情報に対し、自分の課題と結び付けたり、多様な情報と比較・検討したりすることができる ②情報を収集し比較する、選び取る、結び付ける、多面的に分析・整理することができる ③情報からの多様な見方・考え方を生かして、創造的な解決策を見出すことができる	問題解決・探究における情報活用		
	(2) 自らの情報活用を振り返り、評価・改善しようとする態度			①発信された情報がどのように伝わっているかを考える ②情報活用を振り返り、できるようになったことに気付く	①発信した情報の根拠について考え、適切な情報であるか吟味することができる ②これまでの情報活用を振り返り、できるようになったことを見つける	①相互評価して出てきた情報の改善点や問題点について具体的な対応の仕方を考える ②これまでの情報活用を振り返り、できるようになったことを認め、改善点を見出そうとする				
		2 情報モラル・セキュリティなどについての態度		(1) 情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度	①人の作った物を大切にし、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする。 ②コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする	①情報を安全に活用し、個人情報を適切に扱おうとする ②情報発信や情報のやりとりの場合のルールやエチケットを守ろうとしている	①情報モラルや情報に対する責任について考え、情報を正しく活用しようとしている ②不適切な情報や危険な情報に出会ったときに適切に対応しようとし、セキュリティに対する意識を高める		情報モラル・セキュリティ	
	(2) 情報社会に参画し、発展に寄与しようとする態度			①話し合いの時の情報の伝え方などのルールやマナーについて理解する ②様々なメディアから得た公共の情報を扱うときのルールやマナーについて理解する	①メールの送受信をするとき、相手の立場に立った文章や言葉を使うことができる ②情報の知的所有権や著作権の存在を知り、それらを考慮した情報発信の仕方ができる	①情報ネットワーク社会での情報のやりとりの基礎的なセキュリティ対策を理解し情報通信をしようとする ②ネットワーク社会の基本的なルールや法律の理解と違法な行為による問題について理解して参加しようとする				
B 思考力・判断力・表現力等				1 課題発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力（情報発信・発信者の意図の理解）	(1) 課題発見・解決の各過程における情報活用（情報の収集、整理、分析、表現）	①身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、絵や図などを用いて、情報を整理する ②必要な情報を分析し、自分の言葉でまとめる ③相手を意識し、分かりやすく情報を発信することができる	①必要に応じた情報収集や整理を行い、対象についての分析を行うことができる ②問題解決に必要な情報を選択し、分析、再考をして解決策を見つけることができる ③相手や状況に応じて情報を分かりやすく発信するために、適切なツールを用いて表現することができる			①対象についての分析から考察し、導き出された意見や考えをまとめることができる ②情報交換や共有を行う際に、発信者の意図を理解し、適切に回答することができる ③情報発信の際に、相手や状況に応じたツールを適切に活用して表現することができる
	C 学びに向かう力・人間性等									

